



おむねっとだより



～メンバー 手作り通信～

Vol. 51

発行日:2019/7/26

発行者: トマト実いました

グループ

就労支援センター

Om-net(おむ・ねっと)

アルドール&おむ・ねっとCollaboration

この度、アルドールから新しく発売するラスクのパッケージと箱の図案を依頼され、おむ・ねっとメンバーさんから沢山の応募がありました。

採用されたメンバーさんに話を伺ったところ、アルドールの方から「高級感が漂う図案にして欲しい」という要望がありました。図案では、カナダ産の小麦を使っているという事で、小麦のデザインに悪戦苦闘したそうです。リボンのグラデーションと色合いでは、印刷の都合で何度も調整を繰り返しました。パッケージのデザインや色使いにも苦労したみたいです。

出来上がった図案をアルドール側に見て頂き、お互いに意見を擦り合わせしながら試行錯誤を重ねた結果、下記の写真に決まりました。発売日はまだ未定ですが、今から楽しみです。



(記事：緑一色 写真加工協力：みなづき 2号)

知って得する？花言葉特集



皆さんは花言葉をご存じですか？花言葉の中には、良い意味でも悪い意味でも意外な花言葉があります。今回はそんな花言葉を持つ花をご紹介しますと思います。

7月は、春の七草でも知られるセリが開花時期を迎えます。そんなセリにも花言葉があることをご存じでしたか？花言葉は「清廉で高潔」「貧しくても高潔」。この花言葉は、あの聖徳太子にまつわる逸話から由来しているそうです。聖徳太子の4人の妻の中で最も寵愛を受けたといわれる「^{ほまきぎみのいらつめ}菩岐岐美郎女」。彼女の別名が「^{せりつみひめ}芹摘姫」といい、聖徳太子がセリを摘んでいる庶民の娘に一目ぼれし、菩岐岐美郎女を妻に迎えた、という話からそう呼ばれていたとされています。彼女の養母を思う心の優しさに太子は惹かれたそうです。セリの花言葉はこの芹摘姫の逸話からできた花言葉だと言われています。シンデレラストoryみたいで、なんだかちょっと素敵なお話ですね。

8月には日本三大有毒植物に数えられるトリカブトが開花時期を迎えますが、実はトリカブトにもちゃんと花言葉が存在します。花言葉は「騎士道」「栄光」「人嫌い」「^{えんせいか}厭世家」「復讐」。トリカブトは英語で「^{マッシュルーム}Monkshood (修道士のずきん)」や「^{ヘルメット フラワー}Helmet flower (カブトの花)」と呼ばれています。花言葉の「人嫌い」「厭世家」は修道士にちなみ、「騎士道」「栄光」は兜に由来します。「復讐」の花言葉は、トリカブトの毒にちなむといわれます。猛毒のトリカブトに「騎士道」なんて花言葉、ちょっと意外な気がしますね。

この他にも、意外な花言葉を持つ花はまだまだ沢山存在します。花を贈る際には、メッセージ代わりの花言葉を託した花を選ぶのも楽しいかもしれませんね。

(記事：みなづき 2号)

2020年カレンダー＆年賀状 作成中！

いつも印刷工房おむねっとをご利用いただきありがとうございます。

毎年ご好評いただいているおむねっとカレンダーと年賀状についてのお知らせです。

今年から新しく販売します卓上カレンダーは数量限定となっており、台紙の色はホワイト・ピンク・ブルー・グリーン・イエローの5色から選べます。毎月予定をたくさん書き込みやすい面と、風景画が大きく描かれている面の2パターンがひとつのカレンダーに入っているの、好みや用途に合わせてご使用いただけます。壁掛けカレンダーは昨年までと同じく2つのサイズで、その月のイメージを表現したイラストを載せております。年賀状については、ネズミが描かれた可愛いものからシンプルなものまで様々なデザインがあります。

カレンダー、年賀状ともに予約開始は9月頃の予定です。どれもメンバーさんの力作ぞろいですので、どうぞお楽しみに！

(記事: RiRi)

[カレンダー] (税込)		[年賀状] (税別)	
卓上	650円	1枚 ~ 10枚まで	1,640円
壁掛け A2	1,350円	41枚 ~ 50枚まで	2,031円
A3	950円	91枚 ~ 100枚まで	2,727円

お祭り～屋台の定番になるまでの起源～

今年も熱いお祭りの季節がやってきましたね♪美味しそうな屋台が沢山並び、どれを買おうか迷ってしまいますが、多くの人はどのお祭りでも売っている食べ物を買ってしまうのではないのでしょうか？

例えば『チョコバナナ』や『わたあめ』、今は屋台が少なくなってきた『りんご飴』に『かき氷』などは新しい屋台が多い中でも人気のある食べ物だと思います。

ですが、皆さん、知っていますか？この4つの食べ物のうち『わたあめ』と『りんご飴』は外国発祥の食べ物。どちらもアメリカのお菓子で『わたあめ』は明治後半にはもう日本で食べられていたとか…。一番外国っぽい名前の『チョコバナナ』は栃木県小山市神鳥谷(ひととのや)の和菓子メーカーが昭和45年にお祭りで売り出したのが始まりだそうです。

ちなみに『かき氷』は古くは平安時代には「あてなるもの」(訳: 上品なもの)として金属の器に削った氷を入れ甘葛(あまかずら)をかけて食べていたそうで、「みぞれ」や「金時」のかき氷は第二次世界大戦前には普通に食べられていたほど昔からありますΣ(°□°)!!最近のお祭りでは『台湾ドラゴンアイス』や『フライドオレオ』などが多くなりつつありますが、50年先でも昔からの定番屋台は残っていてほしいです。

(記事: ハチクマ)

(‘ω’)編集後記(‘ω’)

- ・体調が戻りつつあります。維持できるように頑張ります。(緑一色)
- ・私事ですが、先月誕生日を迎えました。20代最後の1年、楽しく有意義に過ごしたいです。(みなづき2号)
- ・新しい屋台を楽しみにしつつ毎年わたあめを買ってしまいますv(・ω・*) (ハチクマ)
- ・令和になって少し経ちましたが馴染めましたか？元気に夏を乗り切りましょう！(RiRi)

☆お問い合わせ・見学のご相談等は、こちらへお気軽にどうぞ！

就労支援センター
Om-net
おむ・ねっと

社会福祉法人 せらび
所在地: 〒066-0027
TEL: 0123-25-6539
FAX: 0123-25-6613

就労支援センター Om-net(おむ・ねっと)
北海道千歳市末広4丁目1番13号
e-mail: om-net1363@therap.or.jp
Web: <http://www.therap.or.jp/omnet>

